

第2回 「ファイル操作あれこれ(その2)」

1. ファイル情報の確認

一般に、ファイルは「アイコン」と「ファイル名」で表示されます。

「アイコン」の形状(デザイン)で、また「ファイル名」に続く「拡張子」でその「ファイル」が何か(属性)や、作成されたアプリケーション、あるいは「開く」操作で起動する「アプリケーション」などが類推できます。

「ファイル名」又は「アイコン」の部分を右クリックします。

最下段の「プロパティ」をクリックします。

下の図は「全般」タブで、アプリケーションや日付などの情報が表示されます。

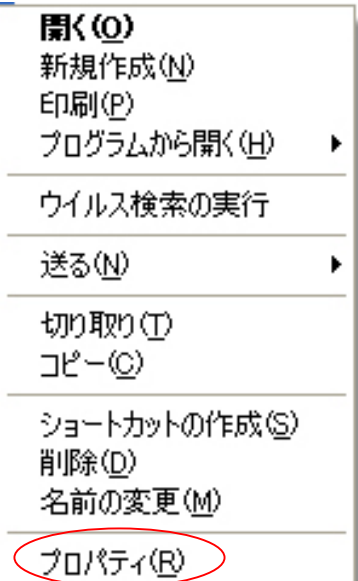
「ファイル」がデジカメ画像のようなさらに詳細な情報を持つ場合は、右クリックメニューやプロパティの表示画面に相違があります。

右クリックメニュー(画像の場合)

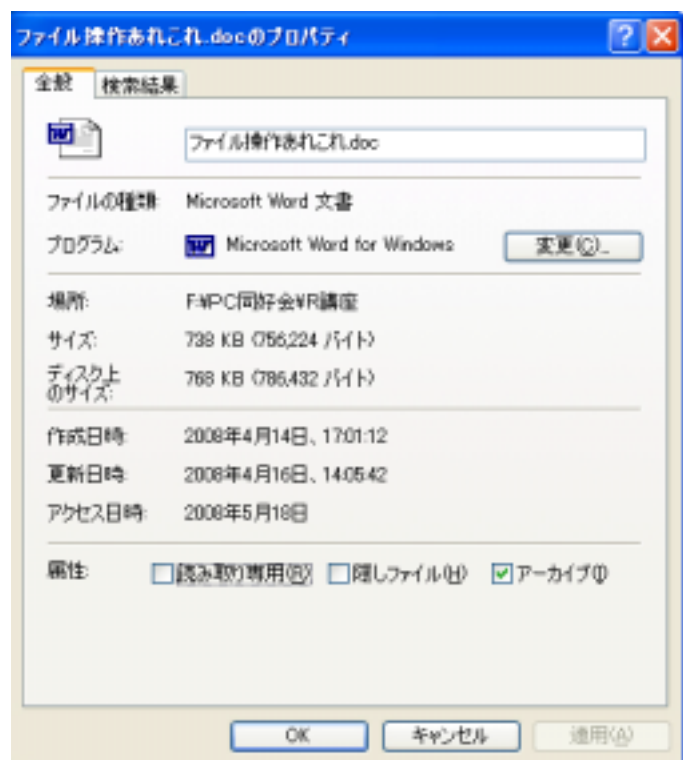


「プログラムから開く」を選択した場合の「選択できるプログラム」が表示されます。

右クリックメニュー



プロパティの全般タブ(WORDの場合)



画像の場合の「プロパティ」

全般タブ



概要タブ



すべてのファイルに共通する操作で、「属性」の項目にある「読み取り専用」にチェックを入れると加工・編集ができなくなります。

2. ファイルの表示

ファイルの操作を効率よく実行するために、必要に応じ「ファイルの表示」を変更します。

一般に、「写真」「縮小版」「並べて表示」「アイコン」「一覧」「詳細」の表示方法があります。

「写真」と「縮小版」は、そのフォルダに「画像ファイル」がある場合に、特に有効な表示方法になります。

「写真」の場合

「サムネイル」と選択した「画像」を拡大表示します。

「サムネイル」にマウスポインタを当てると画像の概要情報が表示されます。

また、拡大表示された画像の下部に、前後への移動ボタンと、画像の90度角度変更ボタンがあります。



「縮小」の場合

画像は「サムネイル」で表示されます。

Wクリックで、関連付けされたプログラムが起動し、拡大表示されます。



「並べて表示」の場合
大きなアイコンでファイル
を表示します。



「アイコン」で表示を選択した場合
小さなアイコンでファイル
を表示します。



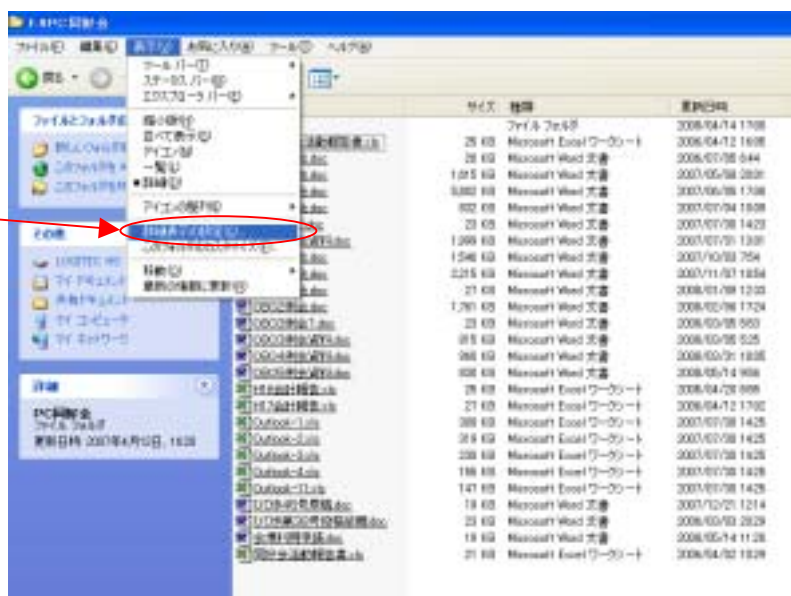
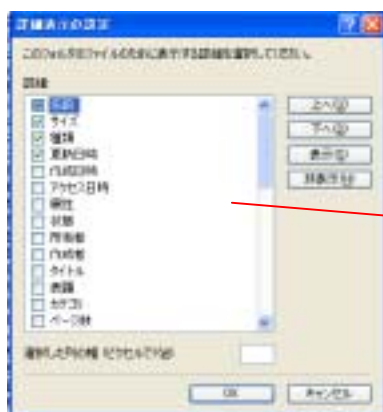
「一覧」で表示を選択した場合
ファイルは小さいアイコンで、1列に並びます。



「詳細」で表示する場合は、右下図のように表示項目に
サイズや種類などが追加されます。

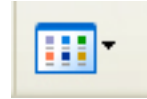
また、詳細に表示する項目は表示する位置の変更を含め
ツールバーの「表示」メニューを開き、設定します。

詳細表示の設定画面



3. 表示の方法の選択

「表示」のツールボタンをクリックして表示されるメニューを選択します。

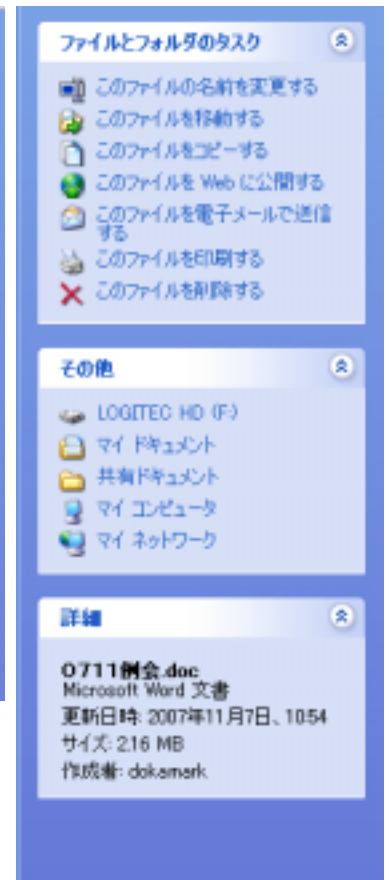
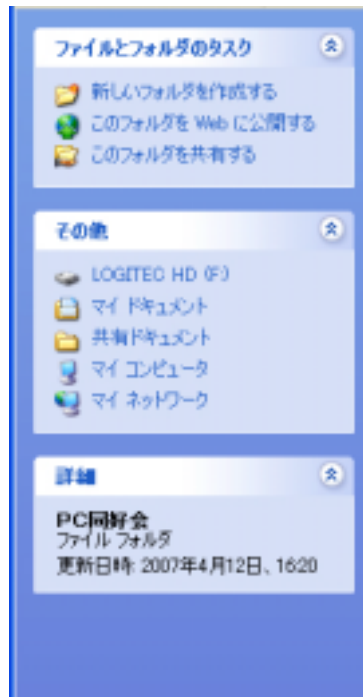


ファイル未選択の状態

ファイルが選択された状態

「ファイルとフォルダのタスク」
右は、フォルダを開きファイル名
が見える段階です。

ファイルを選択した場合の「タスク」
の内容が変化します。



「フォルダ」ボタンでエクスプローラを表示

クリック

